

日本とオーストラリアの家庭の違いについて

横田 樹里 (高校2年)

キャンデン滞在中の毎日は今までの自分の生活とは違い、刺激の多い2週間となりました。ホストファミリーは、BIG FAMILY でマザー、ファーザー、次女とシェアハウスして住む友達で一軒、長女とその旦那とその子供で一軒、三女カップルで一軒と3つ家があります。多い頻度で集まり、みんな大変仲良しです。

滞在7日目に長女の赤ちゃんの一歳の誕生日があり、その週末に50人ほど集まる誕生日パーティーがある事は事前に知らされていました。ですが、それは私の中で想像できるものではなく、未知な素晴らしいお祝いの席に参加できる事はとても嬉しかったです。

12:00前にスタートしたパーティーには50人もの沢山の人が順々に訪れ、ファミリーが作ってくれた大量の料理をどんどん食べ、それぞれのタイミングで赤ちゃんをお祝いし、飲んで食べて楽しんでいました。私が認識しているパーティー、よく知っている誕生日会は参加する全員が揃うと始まり、みんなで歌を歌い、みんなでケーキを食べお祝いするものです。こういったフランクな環境にカルチャーショックを受けました。

もう1つ驚いたのは、スキンシップやものすごい家族愛です。私たちがすれば、おはよう、バイバイ、ありがとう、おやすみって挨拶や感謝を伝える時、ハグやキスなどの愛情表現はしないのが普通で、言葉でも愛情表現するのって恥ずかしくて難しいと思います。ですが、ホストファミリーを含め日本人以外の方はストレートに伝えるし、スキンシップが多いし、側から見てる私にも愛情が伝わって微笑ましい光景で、また、日本との違いにカルチャーショックを受けました。

こんな大家族で親交の深い親戚や友達が多い環境があるオーストラリアなので何か医療的要因があるのではと思い、出生率について調べてみました。



ホストファミリーの皆さんと

	1949年(第一次ベビーブーム)	1973年(第二次ベビーブーム)	2006年	2016年
日本	4.32	2.14	1.26(最低)	1.43
オーストラリア	2.05	2.49	1.91	1.81

特に大きな要因とはならなそうでしたが、現在の出生率が日本よりも高いことに驚きました。